



ほっぷ通信



令和 7 年

10月
October

NO. 7

管理者 米倉芙美子

虫の声に、色づく木々、秋が深まり過ごしやすい季節となってきましたが、寒暖差で体調を崩しやすい時期でもあります。しっかり食べて、身体を動かし、ぐっすり眠り規則正しい生活リズムで体調を崩さず今月も元気に自然に触れながら体験を楽しんでいきたいと思ひます。

市内ではコロナウイルスやインフルエンザウイルスだけではなく胃腸炎や呼吸器感染症などが増加しています。引き続きご家庭でも感染症予防にご協力いただき、お子さんの体調に変化があった際にはご連絡いただけますようお願いいたします。

10月の予定

10月 13 日(月) ミニ運動会

10月 25 日(土) ハロウィンパーティー

※以降のイベントは後日、日程決まり次第ご連絡致します。

●佐々木作業療法士 相談、来所日

10月 18 日(土)、30 日(木)、11月 1 日(土)

リハビリや機能訓練等についてお気軽にご相談下さい。

●嘱託医師訪問予定 10月 23 日(木)

職員紹介



すてっぷより異動してきました。

よろしくお願いします！

生活支援員：菅原京美

初めての仕事ですが、
よろしくお願いします。



看護師：三浦なほみ

ほっぷでの運動療育



サーキット運動は、身体の協調性・バランス感覚・筋力を高め、感覚統合を促し、集中力・社会性・自己肯定感を向上させるなど心身の向上をさせるなど心身の総合的な発達に効果が期待できます。

関わる感覚・機能→触覚・固有受容感覚・視覚・前庭覚・聴覚・集中力

★サーキット

運動療育のサーキットは、感覚統合理論と SPARK 理論という科学的根拠に基づいて身体、頭、心の成長を総合的にサポートする療育手法です。単なる運動ではなく脳の神経経路を強化し、感覚処理能力を向上させ社会性を育むアプローチの一つとして注目されています。



具体的な効果

- ・感情のコントロール…「待つ」「見る」「動く」といった一連の動作を繰り返すことで落ち着いて過ごす力が育み感情のコントロールに繋がります。
- ・ルール理解の促進…順番通りに進むなどの体験を通じてルールを理解し守ることの大切さを学びます。

ほっぷのサーキットの一例

- ・障害物ジャンプ(両足ジャンプ)
- 瞬発性、協応性、体幹、バランス感覚、空間認知力、全身の運動性が向上しエネルギー発散や体幹強化に繋がり、体と心の発達を促します。





ご協力お願い致します

今年度も事業所評価実施の時期となりました。お手数をおかけいたしますが **10/31(金)**までご記入の上返却下さいますようお願いいたします。

9月の壁画

カラフルなコスモスの上にオリジナルトンボを飛ばして秋をイメージしました♪



緊急時初動対応訓練を実施しました！

9月11日(木)に地震、津波注意報発令が送迎時に発令したことを想定して訓練を行いました。子どもたちは落ち着いて行動する事ができ、万が一に備えて訓練を無事に行うことができました。



自主的に頭を隠すことができていました！



特定非営利活動法人セミナーレ
 住所：気仙沼市本吉町登米沢 24 番地 1
 TEL:0226-25-7710 FAX：0226-25-7764
 Mail：seminare@iaa.itkeeper.ne.jp
 HP：seminare-kesennuma.or.jp